



### ご入園・ご進級おめでとうございます！

晴れやかな子どもたちの笑顔あふれる新年度の始まりです。初めて園生活を始める子どもたちにとっては、さまざまな期待や不安もあることでしょう。園の先生方は、子どもたちの気持ちをしっかりと受け止め、一緒に考えたり行動したりしながら、子どもたちが力を十分発揮できるように保育を進めてまいります。今年度は、15名(3月入園含む)の新しいお友達を迎えて、園児69名・職員18



「人生で大切なことは全て保育園の砂場で学んだ」と言われるように、子どもたちはお砂場で遊びながら、お友だちや保育士と関わりながら人として学ばせていきます。お砂場即ち、保育園は三つ子の魂を育む原点です。子どもたちにとって、毎日の園生活が楽しく充実したものになるように、職員全員が力を合わせて子どもたちの成長を見守っていきたくて思っております。

「おはようございます!」。子どもたちの元気なあいさつで、もも組・すみれ組・さくら組・うめ組がスタートしました。新しい仲間との出会いにも大喜び!一人ひとりのりりしい表情も心強く感じます。小さなお友だちへもさりげなく自然にお世話しています。ひとつ大きくなった喜びが体中からあふれ出している子どもたちの、笑顔がとてもうれしい毎日が始まります。



この一年、泣いたり笑ったり、子どもたちと正面から向き合っていきたいと思えます。どうぞ一年間よろしくお願ひします。

### 4月の目標

ヒヨコ	・新しい環境に慣れ、好きな遊びを楽しみましょう。
ウサギ	・楽しい環境に少しずつ慣れ、安心して過ごす。
すみれ	・保育者や友だちとの出会いや関わりを楽しみ、新しい環境に慣れる。
さくら	・進級や入園の喜びを味わいながら、新しい生活の仕方に慣れていく。 ・保育者や友だちに親しみをもち、一緒に遊ぶ楽しさを感じていく。
うめ	・年長組になった喜びを感じ、遊びや活動に意欲的に参加する。

### 4月の行事予定

- 1日(水) 入園式、進級式
- 7日(月) 交通安全(園の周辺) ~11日 園内めぐり
- 9日(木) 新入園児歓迎会
- 13日(月) 朝礼開始
- 13日(月) ~16日 避難訓練
- 16日(木) 園外保育(菜の花散策)
- 24日(金) おたんじょうかい

※毎週月曜に爪の検査を行います。ご家庭で注意して切りそろえてください。



### お願い!

- ・持ち物には必ず名前を付けてください。
- ・9時までには登園してください。遅れる場合やお休みの場合は必ず連絡してください。



## 4月生まれのおともだち

### おたんじょうびおめでとう!

- 7日 さかた ゆうしんくん(2さい)
- 8日 こぼやし なおちゃん(5さい)
- 15日 ほんだ はるかちゃん(4さい)
- 18日 たじま みかちゃん(4さい)
- 22日 ほし けいじろうくん(3さい)
- 23日 わかしぼ しゅりくん(1さい)
- 25日 しまだりなちゃん(2さい)
- 27日 こぼやし りょうくん(4さい)
- 29日 せきね じょうくん(4さい)



### 子どもにとっての保育園

先日、登園途中、ふと思いついて、子どもに「保育園は好き?」と聞いてみたら、「あんまり好きじゃない、おうちのほうがテレビとか格好いいおもちゃもあるし楽しいよ」と意外な答えが返ってきました。といっても深い意味があるわけではなく、最近ヒーロー番組やそのタイアップの玩具がとても気に入っているようで、質問したときもちょうどそのことを考えていたので、そんな答えになったようです。それに、自宅ではいつも兄たちと一緒にあそんでいて、刺激の強い時間を過ごしているため、保育園の平和な生活が少し退屈に感じられるのかもしれない。私としては「いろいろ変化のある生活でいいじゃないか」と思ったりします。

そういえば、お迎えに行くと、しきりに先生を自宅にさそう、ということが何度ありました。「先生に来てもらってどうするの?」と聞くと、「一緒にご飯を食べて、先生は自分のおうちのお風呂に入って、それからまた来て寝るんだよ」というプランでした。結局、自宅で過ごすのが楽しいので、先生とも一緒に楽しみたい、ということのようでした。

園では食事やお昼寝の面倒をみてもらっていますから、先生を自宅に連れてきて同じように一緒に過ごせる、と思うのは無理もないことで、「こいつもなかなかいうじゃないか」と感心しました。園にないお風呂のところだけ自分の家に入ってもらう、というのも何か妙につつまが合っています。「先生は仕事で子どもたちの面倒をみているんだから、お仕事のあとは自分の時間なんだよ」と説明したのですが、あまり腑に落ちていないようです。それにしても、かわいがってもらえて当然、という気持ちでいられるのはしあわせだな、と何だかうらやましい気持ちになりました。

そういえば、上の子も「保育園ってどんなところ?」という私の問いに「保育園はおうちのなかにあるんだよ」と意表をつく答えを返してきたことがありました。どうも、子どもたちにとって保育園というのは、おとなの視点からはずいぶん違ったものに見えているようです。

「子どもを預けて働く」というのはおとなには当然のことでも、子どもにとっては親の「仕事」という直接目に見えないものの都合で自宅と保育園を行ったり来たりさせられるわけですから、事情がとらえにくいのは当たり前かもしれません。

そういうおとなの事情はおいおい大きくなってからわかってもらうとして、ひとまずは保育園で先生やいろんな人たちがかわいがってもらって、笑顔で楽しく生活できること、それが何よりです。

### 第1回 小学校へつながる生活習慣 文・増田時枝

「学校教育の基盤」とは、学校で習得する知識を先取りすることではありません。幼児期につちかわれた生活習慣に沿って、自分で考えて行動すること、自分の立場にふさわしい振る舞いをするなど、自分の力を発揮できること、など

「小学校まであと1年。入学後は集団での生活習慣が求められます。本誌の『つながるせいかつ』を読んで、いまから小学校につながる生活習慣を身につけていきましょう。

いよいよ、園生活最後の年のスタートです。年長組に進級した子どもたちは、自分たちが園ではいちばん大きいのだといううれしさや誇らしさとともに、ちよつぷり不安も感じていることでしょう。

そのような子どもたちを支える今日の幼児教育において、大きな動きがありました。幼児期が、人間形成の基礎をつちかう大事な時期であること、幼児期の教育が小学校以降の教育の基盤になること、などが明確にされ、新しく改定された教育基本法に盛り込まれたのです。

本誌の「つながるせいかつ」では、子どもたちの園生活を一年かけてゆつたりと見直しながら、小学校の生活につなげたいと考えています。新しい生活への円滑な移行のために、子どもを支える園と家庭との連携が必要ですので、登園風景から、朝のしたくやあいさつに注目してもらおうと考えています。テーマによりますが、家庭でできる内容もありますので、生活を振り返るヒントとして、ご利用いただければと思います。

小学校まであと1年。入学後は集団での生活習慣が求められます。本誌の『つながるせいかつ』を読んで、いまから小学校につながる生活習慣を身につけていきましょう。

増田 時枝  
聖心女子専門学校、千葉女子専門学校講師  
保育の現場勤務で得た経験をもとに理論と実践に根ざした保育研究を行う。